

平成19年12月17日(月) 開催

子ども応援特別委員会会議順序

開議時刻 午前10時30分
会議室 土木委員会室

○ 開 会

1 付託事件

青少年の健全育成に関する調査

- (1) 青少年問題シンポジウムの開催について
- (2) 少年補導員の活動状況について

○ 次回の委員会

○ 閉 会

子ども応援特別委員会資料

○ 青少年の健全育成に関する調査

- 1 青少年問題シンポジウムの開催について P. 1
- 2 少年補導員の活動状況について P. 2

平成19年12月17日

生活環境部・保健福祉部・産業労働部
教育委員会・警察本部

青少年問題シンポジウムの開催について

「青少年問題を考え、行動する100人委員会」では、青少年の健全育成を広く訴えていくため、次のとおり「青少年問題シンポジウム～今、大人の役割を考える～」を開催する。

※「青少年問題を考え、行動する100人委員会」

県内の関係団体（134名/団体）の代表が集まって、青少年問題を協議する委員会で、平成12年に設置された。

「おかやま青少年さんあい運動～であい、ふれあい、たすけあい～」を活動テーマとして、青少年の社会参加と健全育成に向けた取組を広く県民運動として展開している。

1 日 時

平成20年1月27日（日）13:00～15:40

2 会 場

岡山県立美術館2Fホール 岡山市天神町8-48

3 内 容

(1) オープニングセレモニー

ミニコンサート 明誠学院高等学校 吹奏楽部

(2) 青少年健全成功労者知事表彰式

(3) 講演

テーマ 「子どもを叱れない大人たちへ」

～法務省少年院篤志面接委員が語る現代青少年の心～

講 師 落 語 家 かつら さい が
桂 才 賀

(4) パネルディスカッション

テーマ 「大人が気づけば、子どもが変わる」

パネリスト

落	語	家	桂	才賀
岡	山	県	知	事
石	井	正	弘	
岡	山	大	学	教
水	野	正	憲	
笠	岡	市	立	陶
中	村	ひ	と	み
岡	山	県	巡	回
友	金	可	奈	恵
友	金	可	奈	恵

コーディネーター

フ リ ー ア ナ ウ ン サ ー 遠藤 寛子

4 参加者

「青少年問題を考え、行動する100人委員会」委員、一般参加者、青少年など約200人

少年補導員の活動状況

1 少年補導員の配置概要（平成19年4月1日現在）

- (1) 配置人員：37名（女性36名、男性1名）
- (2) 配置所属：少年サポートセンターと15警察署
 - 少年サポートセンター：13名
 - 警察署（15署）：24名

注：少年サポートセンターは、少年の非行防止と健全育成を目的に平成11年7月1日、少年課の附置組織として、岡山、倉敷及び津山の県下3箇所に設置

2 活動状況

(1) 少年相談への対応

- 電話相談（ヤングテレホン・いじめ110番）、メール相談（ヤングメール）、及び面接による少年に関する相談の受理と指導・助言等

区 分	16年	17年	18年	19年11月
受案件数	942	1,079	1,151	676
電話・面接	488	572	655	486
メール	454	507	496	190

(2) 継続補導と立ち直り支援

- 補導した少年の内、特に必要があると認められる少年に対する保護者等と連携した継続補導と立ち直り支援

区 分	16年	17年	18年	19年11月
継続補導	87	81	104	139

(3) 街頭補導

- 非行が行われ易い場所、時間帯を重点に、積極的な見回りや声かけ等を行い、非行少年等の早期発見と補導を実施
- 少年のたまり場となり易い店舗等を対象に、教職員や少年警察ボランティア等と連携した街頭補導活動を実施

区 分	16年	17年	18年	19年11月
補導人員	2,393	3,120	2,360	2,416

(4) 触法・ぐ犯少年事件の調査等

- 低年齢少年に係る触法少年事件やぐ犯少年事件に関する調査と関係機関への通告、送致

区 分	16年	17年	18年	19年11月
触法少年	701	636	440	408
ぐ犯少年	0	4	1	3

(5) 少年非行防止活動

- 県内各地域の幼、小・中及び高等学校において、寸劇やロールプレイ等の手法や少年補導員として体験談を交えた講話を取り入れ、命の大切さや規範意識の向上を呼びかける「心と命の教室」をはじめ、「薬物乱用防止教室」、「出会い系サイト等利用防止教室」等の心と命の教育活動を展開

区 分	16年	17年	18年	19年11月
心と命の教室	85	794	634	723

注：県下全署において実施したものを計上（警察官のみによる実施も含む。）

- ※ 平成19年7月から、民間被害者支援団体や県知事部局、県教育委員会との協働による「心と命の教育活動 ～子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもさせないために～」を展開（平成19年12月16日現在、県下6中学校で開催）

(6) その他の活動

- 被害少年の立ち直り支援、要保護少年の保護活動
- 有害環境の浄化活動
- 児童・生徒の安全確保のための不審者対応訓練等
- 非行防止広報資料の作成、配付等の広報啓発活動

3 活動好事例

- (1) 友人に脅迫を繰り返していた少年の継続補導による立ち直り
- (2) 少年院送致された少女が長期にわたる継続補導により更正

青少年問題シンポジウム

～今、大人の役割を考える～

参加者
募集

参加費
無料

きちんと叱る。やさしく見守る。

青少年の健やかな成長を支えるために、現在の大人がすべきこと、
変わらなければいけないことが、きっと数多くあります。

今、求められている大人の役割について、一緒に考えてみませんか。

多数の皆さまのご参加を、お待ちしております。

日 時：平成20年1月27日(日)
13:00～15:40(開場 12:00)

会 場：岡山県立美術館ホール 岡山市天神町 8-48

募集人員：100名(先着申込順)

主 催：青少年問題を考え、行動する100人委員会
(岡山県内の関係団体の代表が集まって青少年問題について協議する委員会)

第1部 講演

「子どもを叱れない大人たちへ」

～法務省少年院篤志面接委員が語る現代青少年の心～



講師：落語家 ^{かつら さいが} 桂才賀さん

1950年東京生まれ
海上自衛隊経験を持ち、法務省「少年院篤志面接委員」として20年以上も活動が続いている異色の落語家。
1972年、九代目「桂文治」に入門し「桂文太」を名乗る。
1985年、七代目「桂才賀」を襲名する。

以来、高座、テレビ、ラジオで活躍する傍ら、全国の少年院を訪問し青少年と建前抜きの本音のつき合いを深めている。
犯罪を犯す青少年たちの背景を知り尽くし、彼らをとりまく親・教師・大人たちへの、核心をついた提言も多い。

第2部 パネルディスカッション

「大人が気づけば、子どもが変わる」

〈パネリスト〉 落語家
岡山県知事
岡山大学教育学部 教授

桂 才賀
石井 正弘
水野 正憲

笠岡市立陶山小学校 教諭
岡山県巡回パトロール専門員

中村 ひとみ
友金 可奈恵

〈コーディネーター〉 フリーアナウンサー

遠藤 寛子

講演に先立ち、明誠学院高等学校吹奏楽部によるミニコンサート、青少年健全育成成功労者知事表彰式を予定しています。

申込方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

F A X 下記F A X申込書に必要事項を記入のうえ 086-225-2949 に送付してください。

ハガキ 下記F A X申込書に記載された内容をご記入のうえ
岡山県青少年課「青少年問題シンポジウム」係
(〒700-8570 岡山市内山下 2-4-6)に郵送してください。

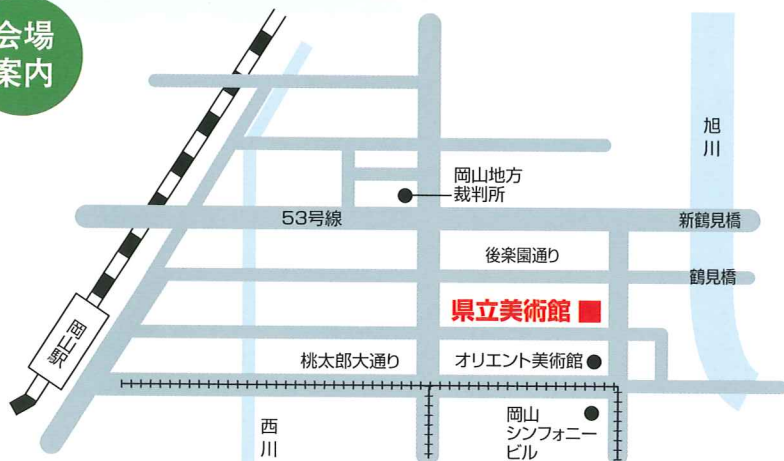
E m a i l 下記F A X申込書に記載された内容を seisyonen@pref.okayama.lg.jp に送信してください。

ホームページ 岡山県青少年課のホームページ内のシンポジウム申込フォームをご利用ください。

平成20年

1/10
(木) 締切

会場案内



岡山県立美術館

- JR 岡山駅から徒歩 15 分
- 市内電車／東山行「城下」下車徒歩 3 分
- バス／藤原団地行「美術館前」下車すぐ
- 駐車場のスペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

申込・問合せ先

岡山県青少年課「青少年問題シンポジウム」係
〒700-8570 岡山市内山下 2-4-6

TEL 086-226-0560

FAX 086-225-2949

Email seisyonen@pref.okayama.lg.jp

HP

岡山県 青少年課

検索

青少年問題シンポジウム 参加F A X申込書

(切り取らずに、このまま送信してください。)

平成 年 月 日

団 体 名	(関係団体としての参加の場合ご記入ください。)
お 名 前	
ご 住 所	〒
電 話 番 号	

※後日参加証を郵送しますので、すべての項目について漏れのないようご記入ください。

※応募者多数により参加をお断りする場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

※ご記入いただいた情報は、当シンポジウム受付業務のみに使用し、適正に管理いたします。